

子ども夢フォーラム

News!

NPO(非営利任意団体)
2016.1.15 (No.93)

【隔月発行】発行責任者：高木真理子

2016年を迎えました！ 本年もどうぞよろしくお願ひいたします！



今年の幕開けはどんなでしたか。

1月もすでに半ばが過ぎ、日常の生活リズムに戻られていることと思います。しばらくは異常とも思える暖かな日が続いた金沢でした。冬型の気温が戻り、急な寒さが身にしみます。年明け早々に体調を崩された方も多いのではないのでしょうか、悲喜交々、今年一年、何が待ち受けているのでしょうか。変わりなく日常を紡げることの奇跡を仕合せと感じるこの頃です。

子ども夢フォーラムは、チャイルドラインの受け手ボランティアさんをはじめ、多くの方の支えとご協力によって活動を続けることができています。

2015年度も残りわずか！(3月まで) 気を引き締めて乗り切りたいものです。

今年も皆様を頼り、支えていただきながら、学びを重ね、粛々と歩みをすすめていければと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

<2月講演会のご案内>

2月に二つの講演会を予定しています。

いずれも子育てに関することです。未来を託す子どもたちへの想い、関わりなどを考える機会です。

“子どもひとり1人を社会全体で見守り、育んでいく”…そのために自分にできること、何ができるか、などのヒントに出会える機会としていろいろ企画しています。

ご多忙とは思いますが、どうぞご参加ください。



2/16(火) 14:30～16:30

テーマ：「子育てハッピーエッセンス100%」

講師：明橋大二氏

参加費：1000円

明橋先生をおよびするのは3回目。毎年この時期にお願いしています。子どもと向きあうための糧にさせていただきたいし、子どもの成長に伴い、問題も次々、発生してきます。そのため繰り返し聞いて頂く機会をつくっています。

子育てが楽に思えるようになるかもしれません。

お友達を誘って、どうぞご参加ください！

託児はありませんのでお子様とご一緒にどうぞ！



2月28日(日) 13:30～15:30

「男だって子育て！おじいちゃんだって孫育て！」

講師：広岡守穂氏



当日、茨木大光氏によるミニライブを同時開催します。応募された文章の中から、当日会場で曲にして披露して下さるコーナーもあります。

文章は、子育ての楽しかったことや苦勞、夫や妻を想う気持ちや苦言、など、なんでもオッケー！

原稿は、子ども夢フォーラム宛て、2月15日までに
お寄せください。皆様のご応募お待ちしております。

H27 年度自殺防止対策講演会
現代社会の子どもの育ちを考える一家庭・教育・環境・ネット社会一
なぜ日本の若者の自殺率は高いのか

H27 年 11 月 29 日 (日) 会場：石川県立音楽堂交流ホール
主催：石川県 かけがえのない命をまもるネットワークいしかわ

アカペラの澄んだ歌声で始まりました！
(曲名は、ハナミズキ、スイートメモリ、トゥモローの3曲でした)
講演 演題「人間になれない子どもたち～スマホ社会の落とし穴～」
講師 清川 輝基氏 (NPO 法人子どもとメディア)

- ・電子機器の接触時間が生きる意欲や学力低下に影響している
(※H26 年度川島隆太氏 (東北大) グループが調査したグラフ引用)
- ・スマホやタブレットを至近距離で長時間みせることは“虐待である”
アイコンタクトが育たない、歩かない、しゃべらない、学力低下
- ・日本の子どもたちはとんでもなく劣化している…目・足・言葉＝多面性発達不全
- ・8割の高校生は裸眼視力が 1.0 以下 (60 年前は 2 割)・・・立体視力が育っていない
- ・日本の若者の自殺率は世界一高い
- ・日本の母親の 8 割は、スマホ・TV・メディアをみながら授乳している
メディア漬けはアイコンタクトの拒絶＝人への信頼関係を遮断・欠落させることにつながる
(人への信頼感の第一歩が授乳時の母と子の距離)
- ・鬼から電話

スマホ・携帯の使用時間はどんなに長くても一時間以内に抑えるべき！
「スマホや携帯を長時間使用するといくら勉強しても成績が下がる」という調査結果が得られた。



子どもを叱る
アプリがあるの
ご存じでした？
その名も
「鬼から電話」

※石川県教委 (H27 年 6 月) 発行の冊子「親子のホッとネット大作戦」に、川島隆太氏らのグループによるスマホ・携帯が学力に与える影響という同様のグラフ (H25 年度) が掲載されています。

会場で実際の映像をみました。画面いっぱい鬼が出てきて子どもを叱ります！大人がみてもこわいものでした。→
帰宅後、検索してみました。販売会社からは、お母さまのしつけをサポートするとあります。ホラー的要素もあるので 9 歳以上からとなっているようですが、実際には 2 歳ぐらいから使用していることが多く、我が子の怖がりぶりをママ友で笑いながらメール交換しているともありました。



小さな子どもを持つ母親たちの間で、子どもを叱る際にスマートフォンのアプリケーションを利用する人が増えているとして、尾木ママこと教育評論家の尾木直樹氏が 18 日 (注：2014/ 9/18)、自身のブログで「(子どもが) 恐怖から心痛み、退行現象がひどくなりますよ」と警鐘を鳴らした。
尾木ママは、“叱るアプリ”を利用する母親が増加していると紹介した新聞記事を引用し、「670 万ダウンロードとすごく増えてる!」「尾木ママ。すごく胸が痛いです…」との思いをつづった。
件のアプリとは、鬼やお化けから掛かってくる電話で言うことを聞かない子どもをおどかしてしつけるというもの。似たものとして、秋田の伝統行事「なまはげ」や、地獄を描いた絵本などを思い浮かべがちなが、尾木ママは、それらとこのアプリとは「全く意味が違います」と断言。アプリからは人の温かさなどを感じることができないため、恐怖から心を病んでしまうという。さらに歯ぎしりや夜泣き、指しゃぶりなど退行現象もひどくなるとして、「どんなに忙しくてもママの肉声で叱る これに勝るものはありません！ 自信持って！ ママさんたち！」と呼びかけた。

脅して叱る…このことは、恐怖以外のものも生まないと思います。叱ることは大人の感情に任せてのことが多いはず。子どもを想い本気で叱ったとき、子どもにしっかりと伝わると思は思うのですが、どうでしょう？ (高木)

金沢百万石 RC 年忘れ例会 (2015/ 12/17)

子ども夢フォーラム活動当初より、ご支援いただいている金沢百万石ロータリークラブ様の年忘れ例会に招かれ、参加させていただきました。クラブ会員とご家族との和やかな時間に同席させていただき、楽しい時間を過ごしました。子どもたちがたくさんきているのも良かったです。



チャイルドラインの活動を通して、私たち大人がもっともっと子どもを理解しなければとの思いで、講演会など企画しています。日程があれば、ご参加くださると嬉しいです。



金沢市児童虐待防止活動推進事業

「地域といきる心の臨床」

～いじめ・不登校・非行など子どもの示すサインとどう向き合うか～

H27年12月19日(土) 会場：金沢市教育プラザ富樫

主催：子ども夢フォーラム

後援：金沢市 親と子のリレーションシップほくりく 女性と子ども支援ネットワーク金沢



講師 平野 直己氏 (北海道教育大学准教授)

学内にとどまることなく、地域でサポートしている人を支える場をつくったり、「そらぶちキッズキャンプ※」を実施したり、北星余市高校の教師との交流だったりなど、いろんな方との“理解”というワークが、先生にとっての「心の臨床」であることがものすごく伝わってきました。



『子ども理解とは、子どもの善し悪しという視点に対して、その行動をひきおこした背景となる「心」、この「心」という視点で子どもを理解しようとする姿勢や態度を“持ち続ける”こと』と話されたあと、下記の詩をご紹介いただきました。子どもの背景はとてもシンプルであること、やっтерることと伝えたいことのギャップがあるということ、具体的な例からあらためて学ばせていただきました。

『金魚』

母さん、母さん、どこへ行た。
紅い金魚と遊びませう。

母さん、帰らぬ、さびしいな。
金魚を一匹突き殺す。

まだまだ、帰らぬ、くやしいな。
金魚を二匹絞め殺す。

なぜなぜ、帰らぬ、ひもじいな。
金魚を三匹捻じ殺す。

涙がこぼれる、日は暮れる。
紅い金魚も死ぬ死ぬ。

母さん怖いよ、眼が光る。
ピカピカ、金魚の眼が光る。

北原白秋 (1885～1942)

いじめ・不登校・非行などについても
具体的にひとつずつ解析していただき、
参加された方のの胸にすんとおちた
ように感じました。



感想から (抜粋) ー

- ・子どもとの関わりのなかでモヤモヤしたり、しんどくなることも多い毎日ですが、元気になりました。自分の考えを整理していただいた感じです。
- ・すごく良い講演でした!!
- ・多くのポイントを聞かせていただきました。2時間があっという間でした。
- ・きょうはとてもすばらしいお話でした。子どもの声の本質・心の声を感じられたらいらいらしないで良い関係ができる。行動や言葉を多方面に理解する力をつけたいと思いました。大人がもっと心を豊かに広く持つようにしないと子どもはますます辛くなる。
- ・“目からうろこ”でした。もっと聞きたいです。
- ・いろんな見方、考え方などわかりやすく明確にお話しいただきありがとうございます。子どもも大人もみんな一緒だと感じました。また機会があったら聞きたいです。
- ・カルチャーショックをうけました。自分のしていることが見えてきました。
- ・自分が今からできそうなことゆっくり考えてみたいと思います。有意義な時間でした。
- ・現場で何ができるか考えてみます。
- ・子どもを理解するとはどういうことか、またそれがいかに大切かを学べたと思います。今後の活動の中で、子どもの言葉の背景に心を寄せていきたいと改めて思います。
- ・たくさんたくさんありがとうございました。
- ・すべての言葉、フレーズが新鮮に感じられました。もっと伺いたいです。

※そらぶちキッズキャンプ

(北海道滝川市)

日本ではじめて「病氣とたたかう子どもたちのための事前体験施設」実現にむけたプロジェクトです。「外で遊びたい」という子どもたちの夢の実現、自然の中でのかけがえのない体験が明日への生きる力になります。

参加して下さった方に後日お会いすると、みなさん「良かったよねえ」の声とともにその時の話で盛り上がります^^。ある方の感想には「子ども夢フォーラムではいつもこんな良いお話しがきけるのですか」とありました。そんなふうに感じて下さって最高の褒め言葉ととてもうれしい気持ちになりました。次回の企画にプレッシャーですけど…(笑)



子ども夢フォーラムでは、来年度も再び平野先生をお呼びする方向で考えています。なにぶんにも多忙を極めていらっしゃる先生と日程の折り合いがつか不安ですが、ついた暁には、皆様にお知らせさせていただきます!





【事務局のおもな動き】

★チャイルドラインは、月～土、全国で実施中★
0120-99-7777 (16時～21時)

≪ いしかわは、金曜日と土曜日に受けています! ≫

- 12月 2日(水) 子ども政策審議会
- 5～6日 CL全国運営者会議(東京)
- 9日(水) ホットサロン
- 10日(水) リレほく3県事務局会
- 15日(火) 委員会
- 16日(水) かけがえのない命を守るNW
- 17日(木) 金沢百万石RC年忘れ例会
- 19日(土) 平野先生講演会
- 22日(火) 打合せ
- 25日(金) 女性会議をひらく会
- 1月 5日(火) 仕事始め
- 13日(水) 委員会
- 16日(土) パパ子育て講座(金沢)
- 23日(土) パパ子育て講座(小松)
- 30日(土) パパ子育て講座(金沢)
- 31日(日) 北陸近畿エリア会議(京都)
- 2月 6日(土) 「杜の子まつり」(仙台)
- 10日(水) 打合せ
- 〃 講演(かほく市)
- 16日(火) 明橋氏講演会
- 18日(木) リレほく3県事務局会
- 20日(土) 母と子のこころのサロン
- 24日(水) 受け手支え手合同研修
- 28日(日) 広岡氏講演&ミニライブ
- 3月 13日(日) かけがえのない命を守るNW講演会(珠州市)



午後の休診時間を利用して
来てくださいます。
初めての方も、リピーターの
方も大歓迎!

日曜日の午後、
お父さん!おじいちゃん!
おかあさん!おばあちゃん!
子どもたち!皆さんで
お出かけください!

すでにご利用された方や、
ご存じの方もいらっしゃると思
いますが一つの情報として
お伝えさせていただきました。



「子ども夢フォーラム」は、子ども専用電話【チャイルドライン・いしかわ】を実施しています。【チャイルドライン】は、子どもの話に耳を傾け、心に寄り添い、気持ちを受けとめる電話です。子どもの声からの気づきも重要と捉え、大人社会にフィードバックする「ママ・ホッポライン」や「パパ子育て講座」など、様々な活動を展開しています。同時に他団体とのネットワークも大切にしています。子どもだけでなく、親も、自分に自信をもち、夢を抱きながら心豊かに21世紀を生きていくことにつながるよう、サポートしていきたいと思ひます。



～豊かな子どもの未来のために～ 〈子ども夢フォーラム〉

NPO(民間非営利団体)

〒921-8101

石川県金沢市法島町11-8

いしかわ子ども交流センター2階

TEL/FAX 076-214-5680

URL <http://www.yumeforum.org>

E-mail kodomo@yumeforum.org

郵便振替口座 00700-5-46262

